

INFiLED

VMP

Vision Management
Platform

www.infiled.com



VMP インターフェイス

メニュー
バー

Project Edit View Tools Settings Help

Device list Manage

Q Search device name, I...

- VirtualDevice A
- VirtualDevice B
- VirtualDevice C
- VirtualDevice D
- VirtualDevice E
- VirtualDevice F
- VirtualDevice G
- VirtualDevice H

デバイス
リスト

ファンクションタブ

- Source
- Layout
- Correction
- Processing
- Screen Settings
- Monitor
- Preset

プロパティエリア

スクリーンコネクション/プレビュー



ソースリスト

Source List

HDMI



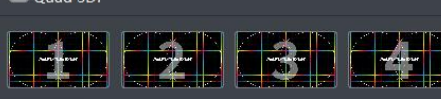
3840*2160@30.00Hz

DP



3840*2160@30.00Hz

Quad SDI



SDI 1 SDI 2 SDI 3 SDI 4

Internal Source ✓

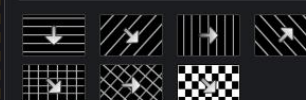


7680*4320@60.00Hz

Select Source

Internal Source

Internal Source



Grayscale

Gradient Stretch

Speed

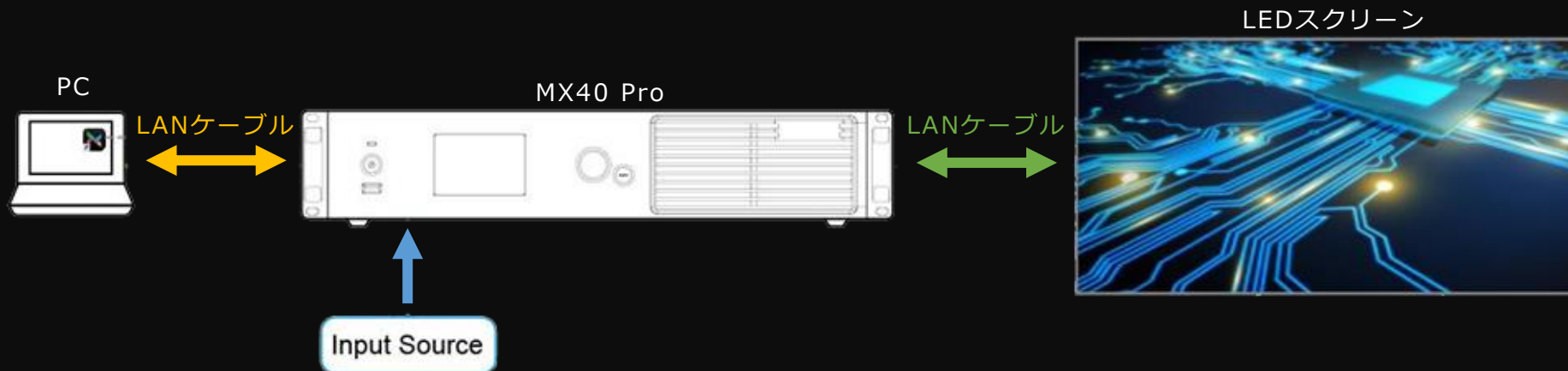
Space

Resolution 7680*4320

Refresh Rate 60.00Hz

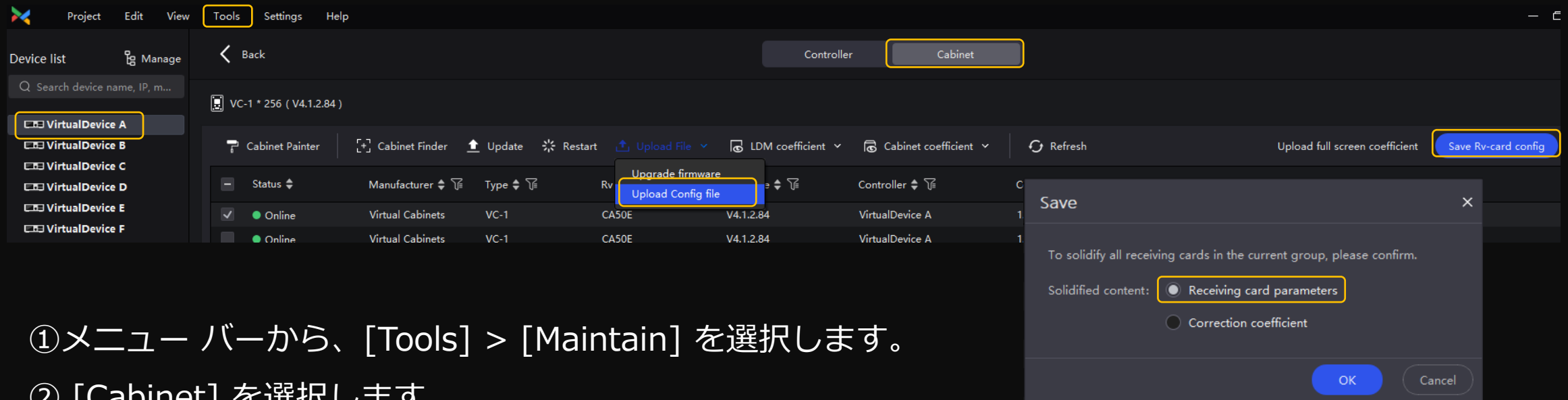
Bit Depth 8bit

コントローラと接続



- ①コントローラのノブを押してメニューに入り、[Communication Settings] > [Network Settings] を選択します。
- ② [Manual] を選択
- ③IP アドレス、サブネット マスク、デフォルト ゲートウェイを設定し、コントローラと制御 PC が同じネットワーク セグメント上にあることを確認します。
- ④設定後[Apply] を選択し、ノブを押します。

.rcfgxファイル（構成ファイル）



- ①メニュー バーから、[Tools] > [Maintain] を選択します。
- ② [Cabinet] を選択します。
- ③左側のデバイス リストからコントローラーを選択、キャビネットに関する情報が表示されます。
- ④ キャビネットを選択し、[Upload File] を選択、ドロップダウンから [Upload Config file] を選択します。
- ⑤ローカルファイルから[rcfgx] を選択、 [Save Rv-card config] を選択し保存します。
- ⑥[Receiving card parameters] を選択し、[OK] をクリックします。

入カソース



- ①左側のデバイスリストからコントローラーを選択し、ファンクションタブから[Source]を選択します。
- ②ページ下部のソースをダブルクリックするか、右側のプロパティ エリアの [ソースの選択] します。
- ③右側のEDID解像度とリフレッシュ レートを設定し、[Apply] を選択します。

入カソース

▼ InfoFrame Override

Color Space/Sampling	RGB 4:4:4	▼
Gamut	From Input	▼
Quantization Range	Limited	▼

▼ Color ↺

Black Level	<input type="range"/>	100% ▲▼
Contrast	<input type="range"/>	100% ▲▼
Saturation	<input type="range"/>	100% ▲▼
Hue	<input type="range"/>	0° ▲▼
Red Shadow	<input type="range"/>	100% ▲▼

▼ HDR ↺

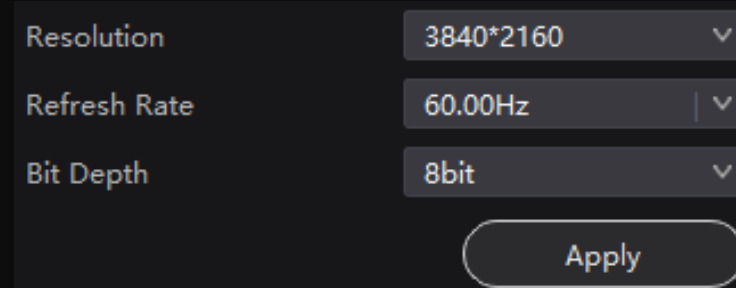
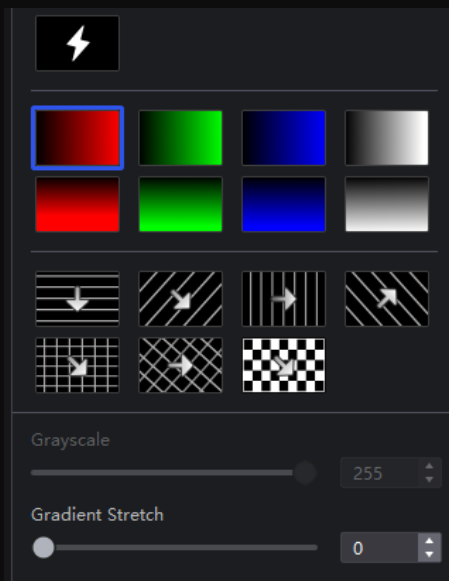
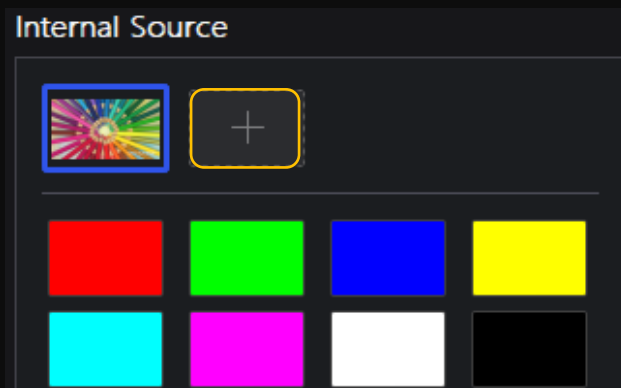
Format	HDR10	▼
HDR10 Parameters		
PQ Mode	ST2084(PQ)	▼
MaxCLL	<input checked="" type="checkbox"/> Override	1000nits ▲▼

インフォフレームオーバーライド：カラースペース/ガンマ/レンジを調整します。

カラー：スライドを調整しパラメータを調整します。

HDR：HDRフォーマットを選択します。

テストパターン

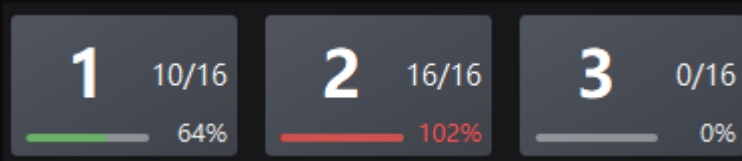


- ①ページ下部のソースをダブルクリックするか、右側のプロパティ エリアの [Internal Source] を選択します。
- ②テストパターンをクリックすると表示されます。
- ③パラメータを調整し[Apply]を選択します。
- ④ [+] を選択すると静止画を 3 つまで追加できます。

スクリーン レイアウト



- パネル表示のみ
- 入力ソースのプレビュー
- パネル表示、入力ソースのプレビュー



①10/16

出力ポート1は16パネル接続、10パネルレイアウトで接続、64%の容量を使用

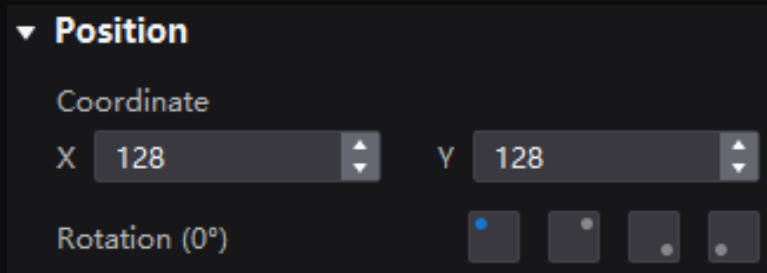
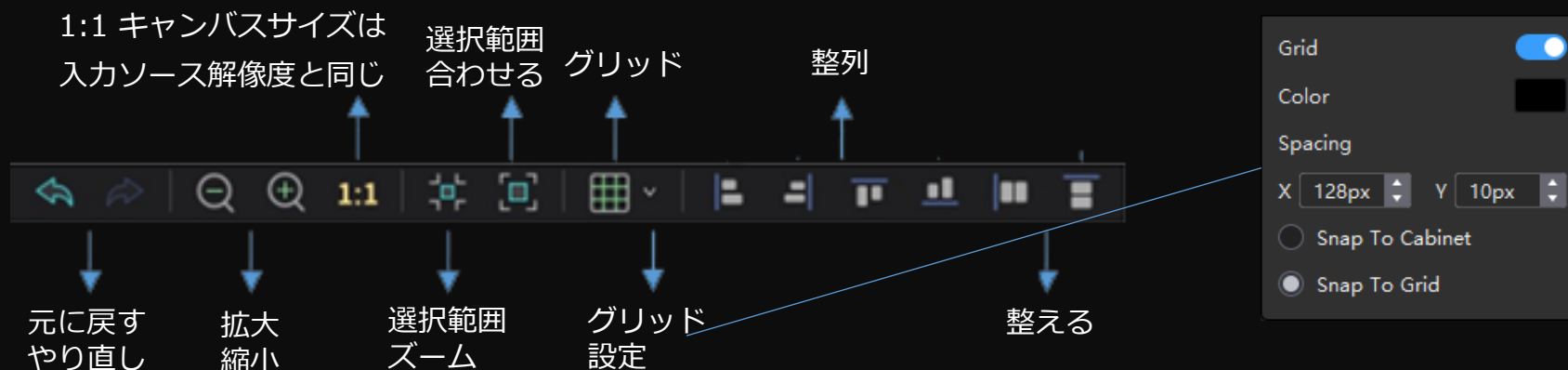
②16/16

出力ポート2は16パネル接続、16パネルレイアウトで接続、102%の容量を使用

①左側のデバイスリストからコントローラーを選択し、ファンクションタブから[Layout]を選択します。

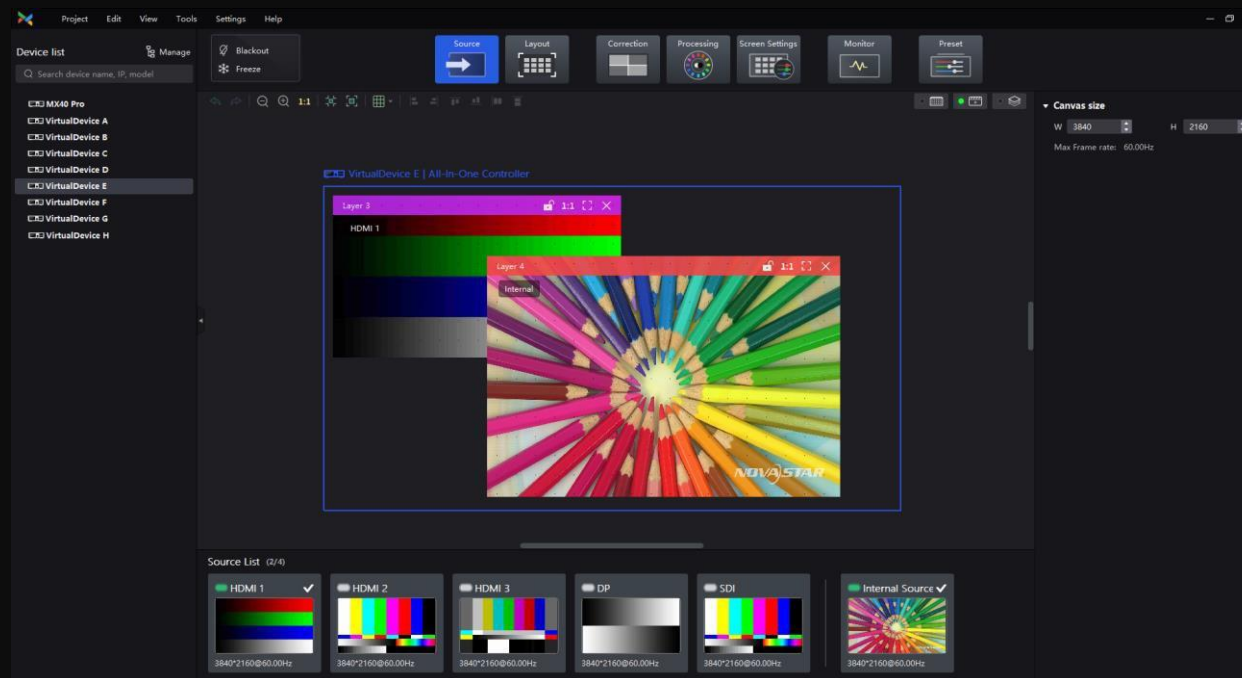
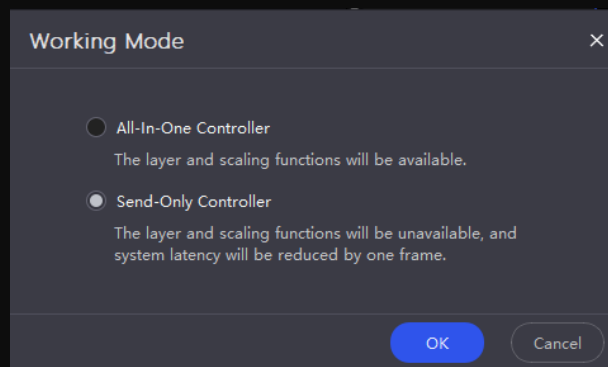
②ページの下部の出力ポートを選択し、キャンバス内をクリックしパネルを配置します。

スクリーン レイアウト



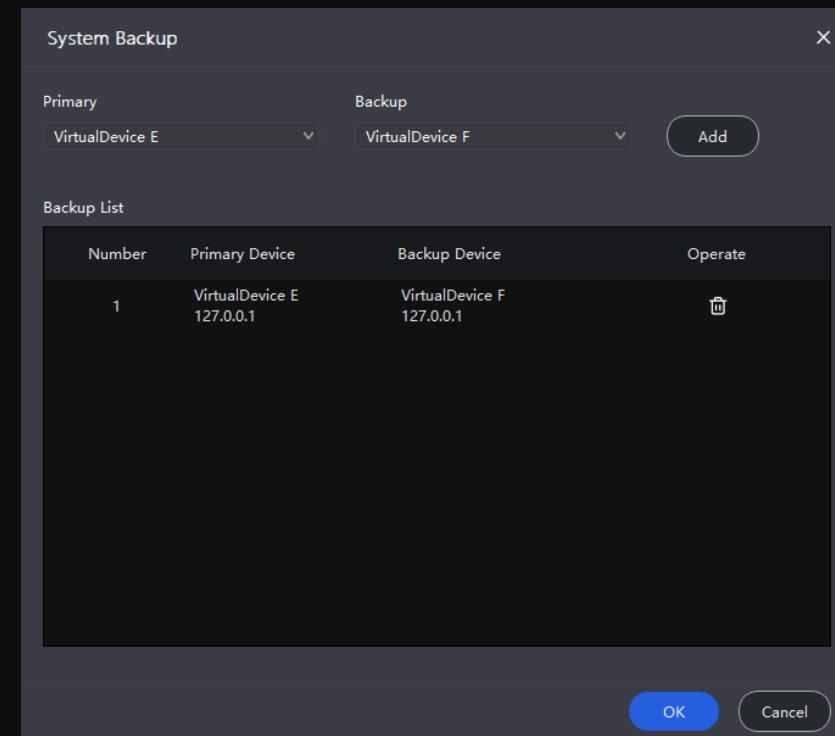
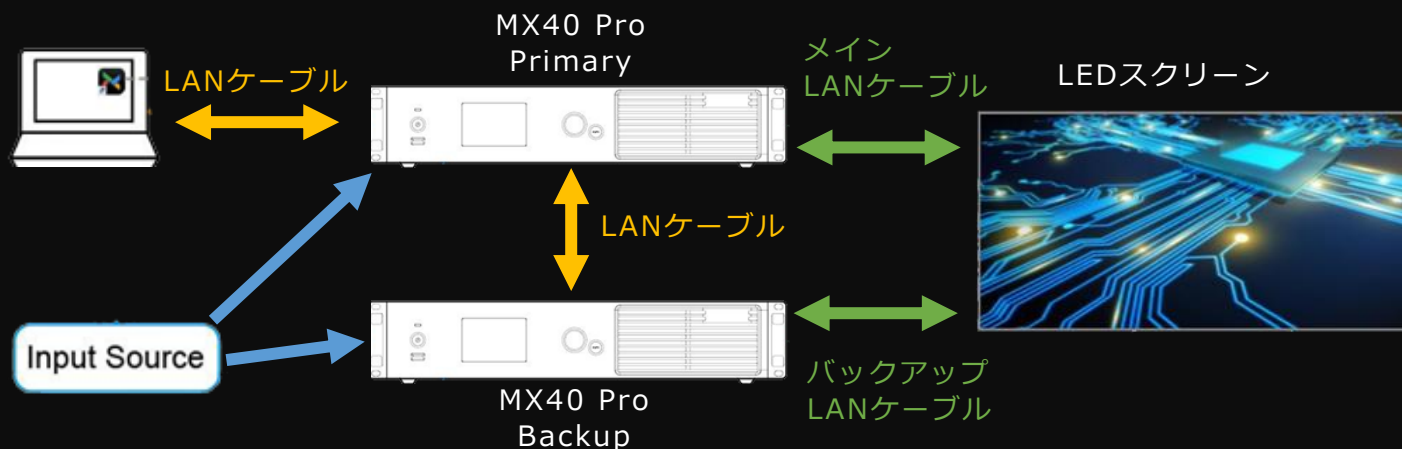
キャビネットの座標と回転を設定する。

オールインワンコントローラ



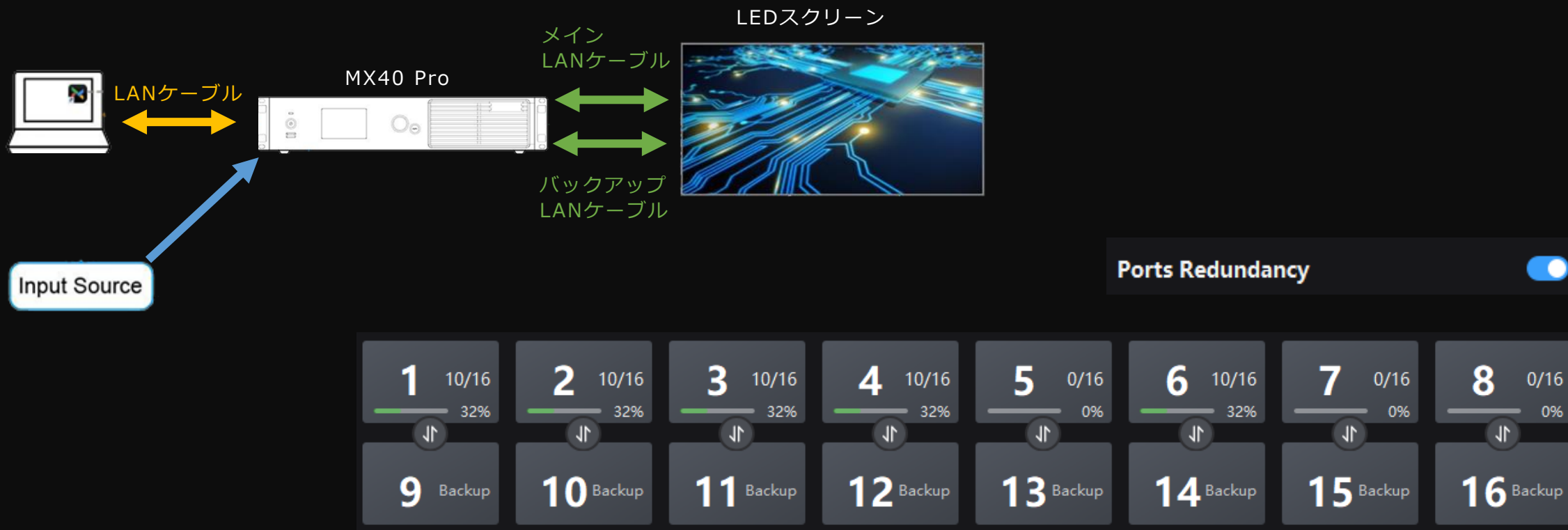
- ①左側のデバイスリストを右クリックし[Working Mode]を選択し、[All-In-One-Controller]を選択します。
- ②入力ソースを選択し、プロパティエリア又はキャンバスからサイズを変更します。
- ③レイヤーを追加するには、下部にあるソースのサムネイルをダブルクリックします。

デバイス バックアップ



- ①コントローラと制御 PC が同じネットワーク セグメント上に設定します。
- ②[Tools]>[System Backup]を選択します。System Backup ボックスが表示されます。
- ③ドロップダウン オプションからプライマリとバックアップをそれぞれ選択し[Add] を選択します。

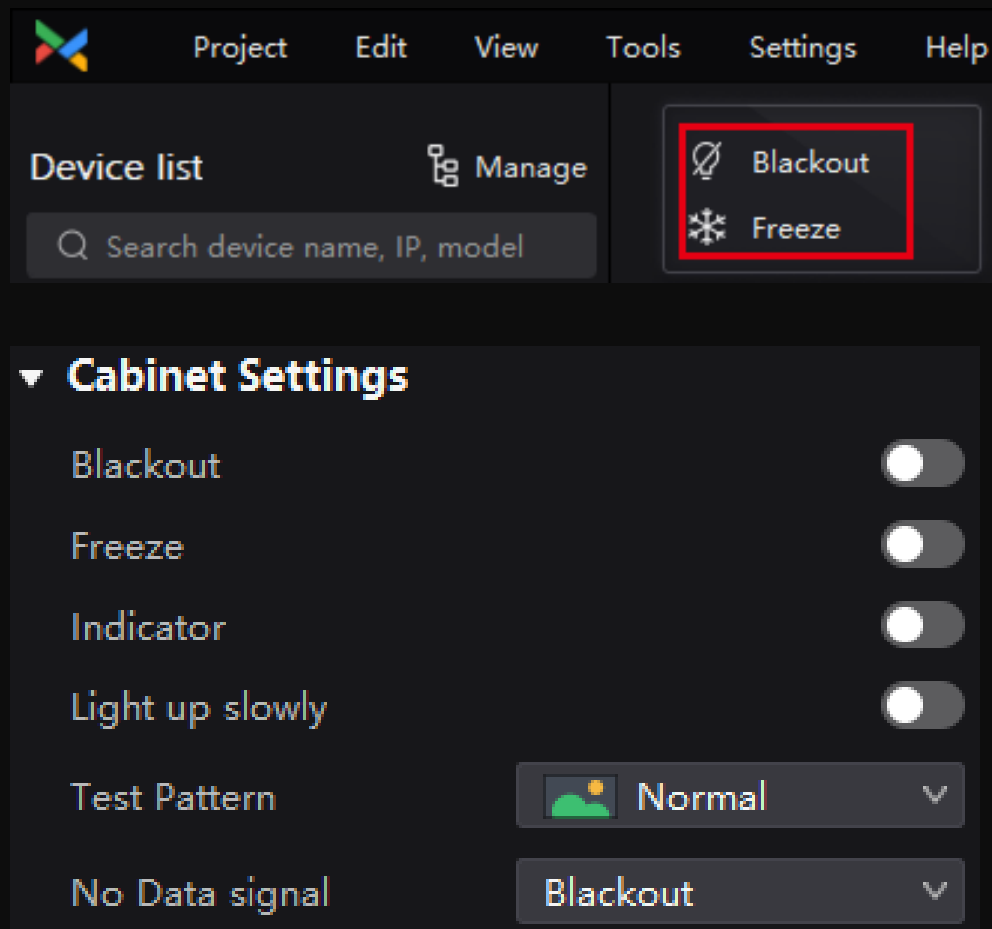
ポートバックアップ



①右下の[Port Redundancy]を選択します。ポートバックアップが表示されます。

②表示されたポートがバックアップとなります。

コントロールディスプレイ



スクリーン
ブラックアウト/フリーズ

選択したパネル
ブラックアウト/フリーズ

PDU緑色インディケータ
点灯しません

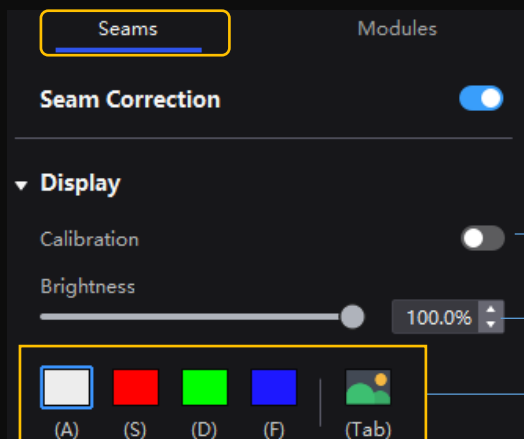
選択したパネルは電源を入れた後
明るさが[0]からゆっくりと点灯します。

テストパターンを表示します。

データシグナルが途切れた時の動作を選択します。
ブラックアウト/ラストフレーム



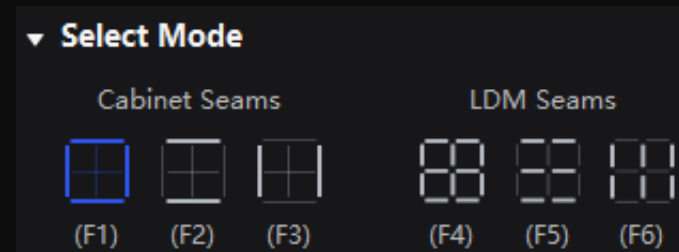
コレクション



[Calibration]スイッチをONにすると
キャリブレーション効果が適用されます。

輝度を調整します。

調整に使用する映像を選択します。

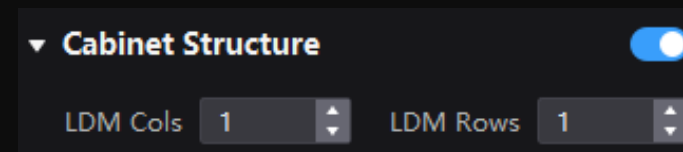
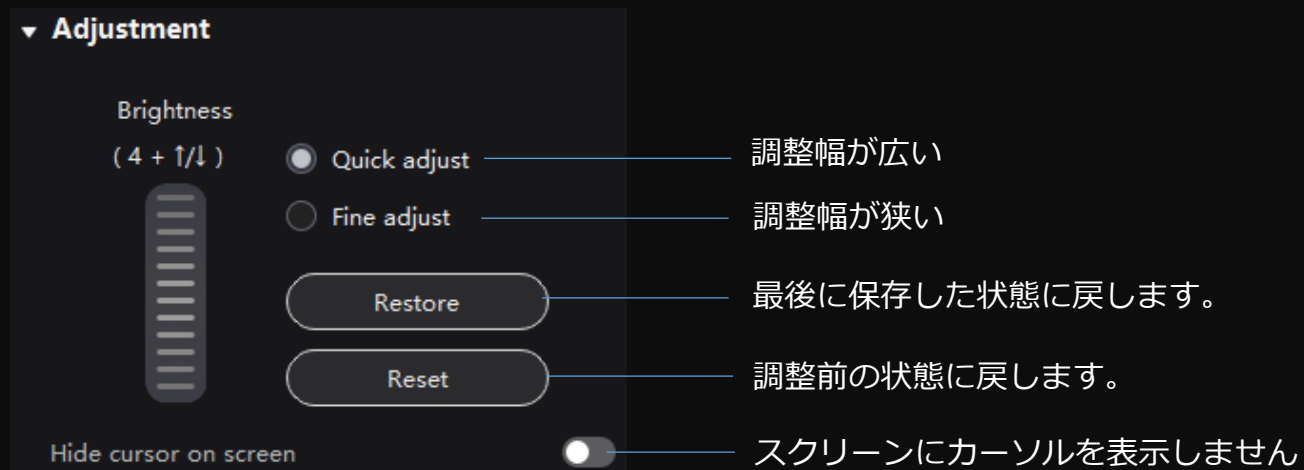


パネルの繋ぎ目修正

モジュールの
繋ぎ目修正

- ①左側のデバイスリストからコントローラーを選択し、ファンクションタブから[Correction]を選択します。
- ②Seamsタブを選択し、[Seam Correction]を選択します。
[Calibration]スイッチをONにするとキャリブレーション効果が適用されます。
- ③キャンバスから調整するモジュールを選択し、[Select Mode]から調整方法を選択します。

コレクション

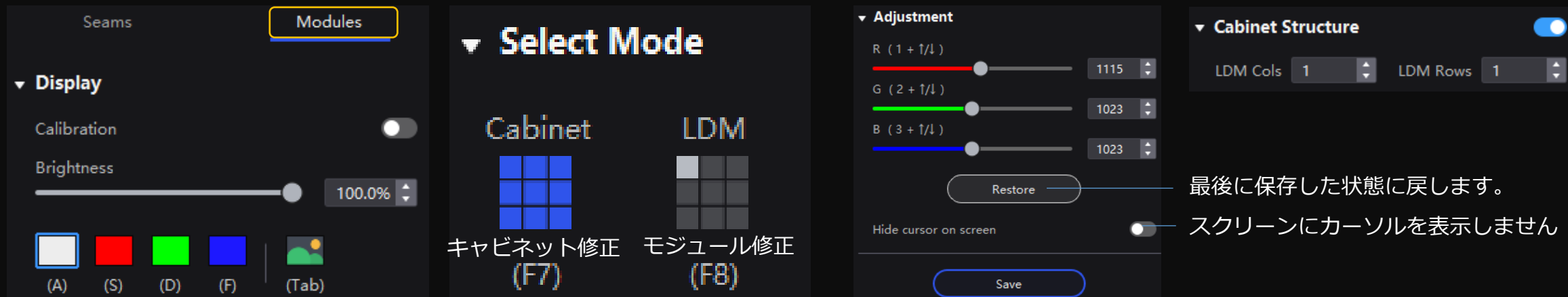


④マウスをスクロールして調整するか、キーボード[4 + ↑↓]で調整します。

⑤調整後は[Save]してください。

※表示されるモジュールの列数行数が異なる場合は、[Cabinet Structure]数値を設定します。

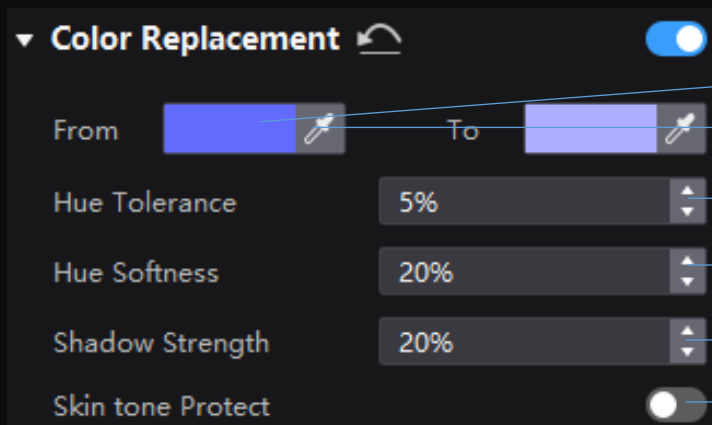
コレクション



- ①左側のデバイスリストからコントローラーを選択し、ファンクションタブから[Correction]を選択します。
- ②Modulesタブを選択します。
- ③キャンバスから調整するモジュールを選択し、[Select Mode]から調整方法を選択します。
- ④マウスをスクロールして調整するか、キーボード[1/2/3 + ↑↓]で調整します。
- ⑤調整後は[Save]してください。

※表示されるモジュールの列数行数が異なる場合は、[Cabinet Structure]数値を設定します。

プロセッシング Color Replacement

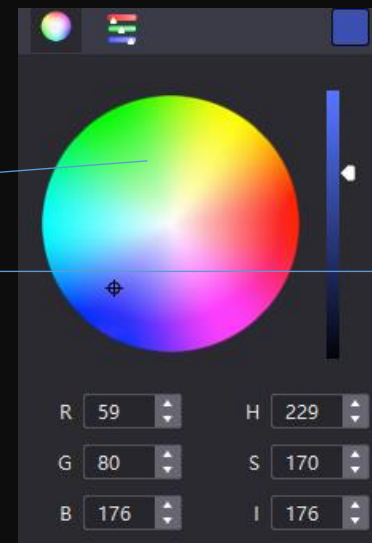


Hueの範囲を調整します。

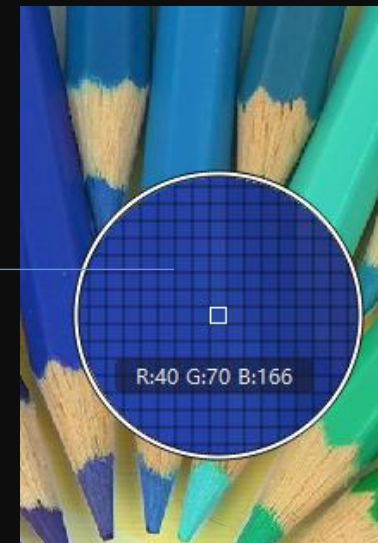
Hueの柔らかさ調整します。

Shadowの強度を調整します。

肌の色を可能な限り元のままにします。



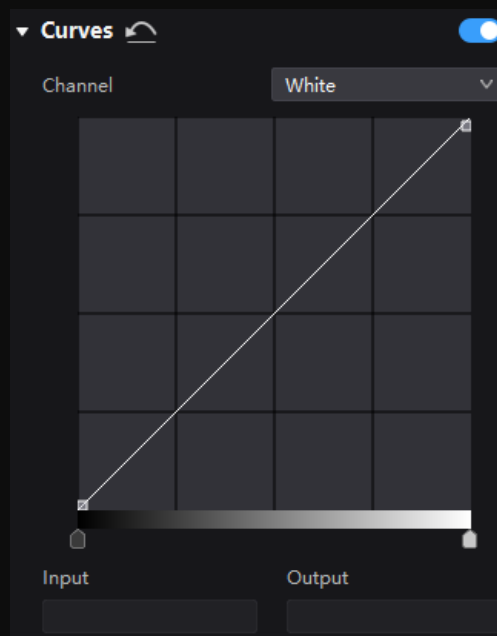
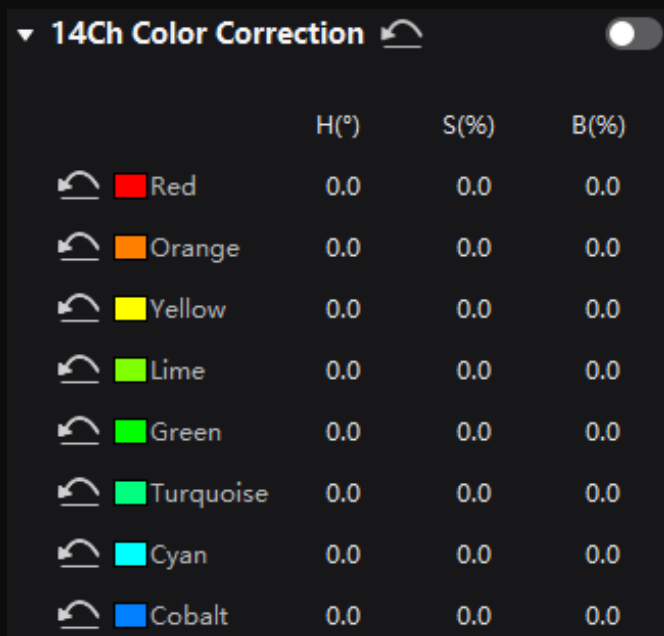
カラーパレット



スポイト

- ①左側のデバイスリストからコントローラーを選択し、ファンクションタブから[Processing]を選択します。
- ②Color Replacementを選択します。
- ③[From]から置換えたい色を選び、[To]置換える色を選びます。

プロセッシング CH Color Correction/Curves



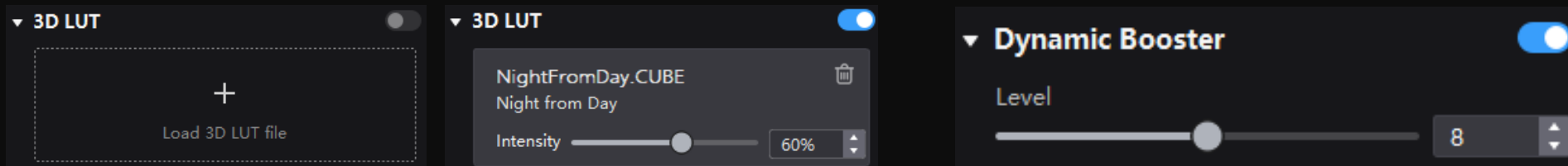
CH Color Correction

- ①左側のデバイスリストからコントローラーを選択し、ファンクションタブから[Processing]を選択します。
- ②14Color Correctionを選択し、値を調整します。

Curves

- ②Curvesを選択し、[White][Red][Green][Blue]を調整します。

プロセッシング 3D LUT/Dynamic Booster



3D LUT

- ①左側のデバイスリストからコントローラーを選択し、ファンクションタブから[Processing]を選択します。
- ②3D LUTを選択し、[Load 3DLUT file]を選択し.cubeファイルをローカルから読み込みます。
- ③スライダーをドラッグしレベルを調整します。

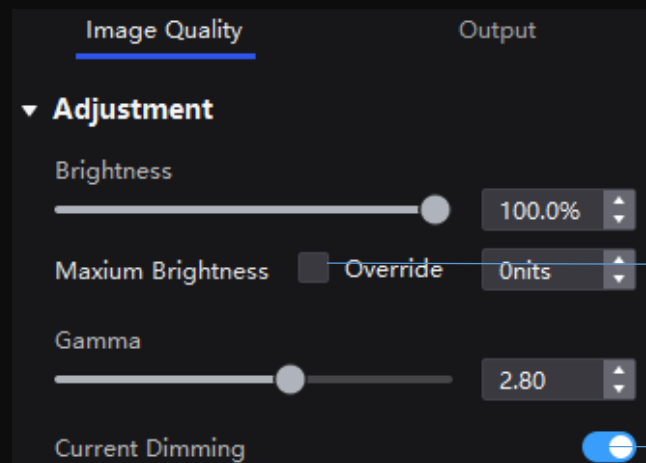
Dynamic Booster

- ①Dynamic Boosterを選択し、スライダーをドラッグしレベルを調整します。

*映像のコントラストを改善する機能

*A10sProレシーブカードが必要です

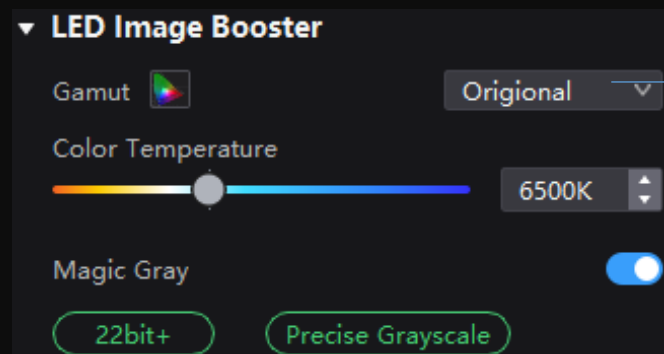
スクリーンセッティング Image Quality



[Brightness]
[Gamma]を調整します。

輝度が低い状態での
チラつきが改善されます。

輝度が低下しますが輝度が
低い状態でのチラツキが改
善します。



色域をドロップダウンして
出力色域選択します

色温度を調整します。

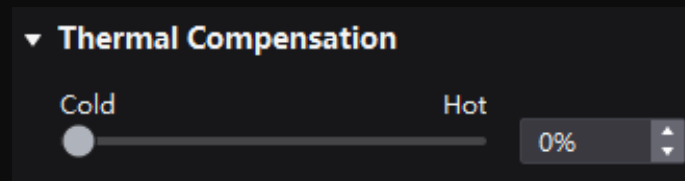
グレースケールが向上し鮮明な映像になります。

*Magic Grayファイル

A8s-N/A10sProレシーブカードが必要です

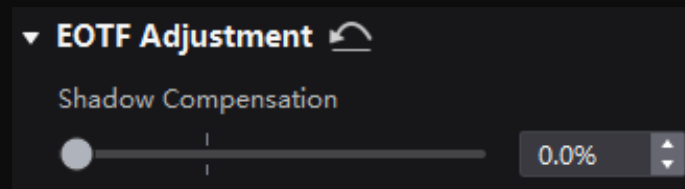


キャリブレーション
が適応されます。



MiniLED、マイクロLEDの
ユニフォミティを改善します。

*Full Grayscale Calibration
A10sProレシーブカード
が必要です。



シャドウ補正値を調整します。

スクリーンセッティング/Output

Image Quality

Output

▼ Video

Bit Depth8bit

Low Latency

Additional Frame LatencyOff

▼ Sync

● Active Source56.00Hz

○ Genlock59.94Hz

○ Internal29.97Hz

Phase OffsetOff

ビットをドロップダウンで
選択します。
Autoを選択すると入力ビット
と同じになります。

低遅延モードになります。
フレームを追加します。

入力ソースと同期します。
ゲンロックと同期します。
コントローラ内部の
フレームレートと同期します。

▼ Frame Multiplication

Frame Multiplication3 (179.82Hz)

Output Frames

1Video

Offset

X0

Y0

2Video

Offset

X1920

Y0

3Color

!

Frame Multiplication could be used to create flashing or flickering effects, with potential to cause disorientation or discomfort, or to be a risk factor for photosensitive epilepsy.

1フレーム時間内に複数の
フレームを出力し、それら
を異なるカメラ出力します。

スクリーンセッティング/Output

▼ Shutter Fit



Mode

Angle



Angle

90.000°



ディスプレイとカメラのシャッターを合合わせる機能です。

▼ 3D



Source Format

Side-by-Side



Right Eye Offset

0



Eye Priority

Left



3rd Emitter



Emitter Delay

7000us



3Dパラメータを設定します。

▼ Port Load

MX40 Pro

Normal



各ポートのキャパシティが表示されます。

スクリーンモニタリング

The screenshot displays the INFILED software interface. On the left, a sidebar contains icons for various functions, with the 'Monitor' icon highlighted. The main area shows a grid of 14 numbered monitor slots (1-14) arranged in two rows of seven. A red line connects slot 1 to slot 7. A legend at the bottom right indicates the status of the monitors: Green for Good, Yellow for Warning, Red for Error, and Grey for Offline. On the right side, a panel displays system status information for the 'Cabinet', 'Rv Card', and 'Cabinet Control'.

Category	Item	Value
Cabinet	Total running time	15h 48m
	Time since boot	2h 39m
	Address	Mix
	Cabinet Voltage	4.50V
Rv Card	Bit error	
	Rv Card Temperature	41.3°C
Cabinet Control	Cabinet Finder	<input type="checkbox"/>
	Blackout	<input type="checkbox"/>
	Freeze	<input type="checkbox"/>
	Test Pattern	Normal

- 全体ステータス
- レーシングカード温度
- パネルの電圧
プロパティエリアで詳細を確認
- ビットエラー
プロパティエリアで詳細を確認
- コントローラ情報を表示

The screenshot shows the MX40 Pro monitor configuration screen. The top left corner displays the version number '127.0.0.1'. The main area is divided into several sections: 'Input' (HDMI 1, HDMI 2, HDMI 3, DP, SDI, Internal), 'Port' (a grid of 20 numbered ports), 'Genlock' (59.94Hz), 'Sync' (Internal source@Not locked), and 'Screen' (1536*512@0.00Hz). A central image of the MX40 Pro monitor is also shown.

①ファンクションタブから[Monitor]を選択します。

スクリーンモニタリング

ログの表示期間を設定

検索ボックス

記録の表示方法を選択

記録を削除


記録を保存

Abnormal Log	2022-07-06 00:00:00 - 2022-07-07 07:29:16	Search device name/type, level...	Tile	Show All	Pack up	Delete	Export
2022-07-07 07:28:04	Warning	Cabinet: MX40 Pro_P1_1 Bit error: 65535	View chart				
2022-07-07 07:27:57	Recover	Controller: MX40 Pro(172.18.12.141) Eth Port1: Output connected					
2022-07-07 07:27:53	Exception	Controller: MX40 Pro(172.18.12.141) Eth Port1: Output disconnected					
2022-07-06 16:27:01	Exception	Controller: MX40 Pro(172.18.12.141) HDMI2.0 1: Source disconnected					
2022-07-06 16:26:14	Exception	Controller: MX40 Pro(172.18.12.141) HDMI2.0 1: Source disconnected					
2022-07-06 15:42:53	Recover	Cabinet: MX40 Pro_P1_1 Bit error is cleared					

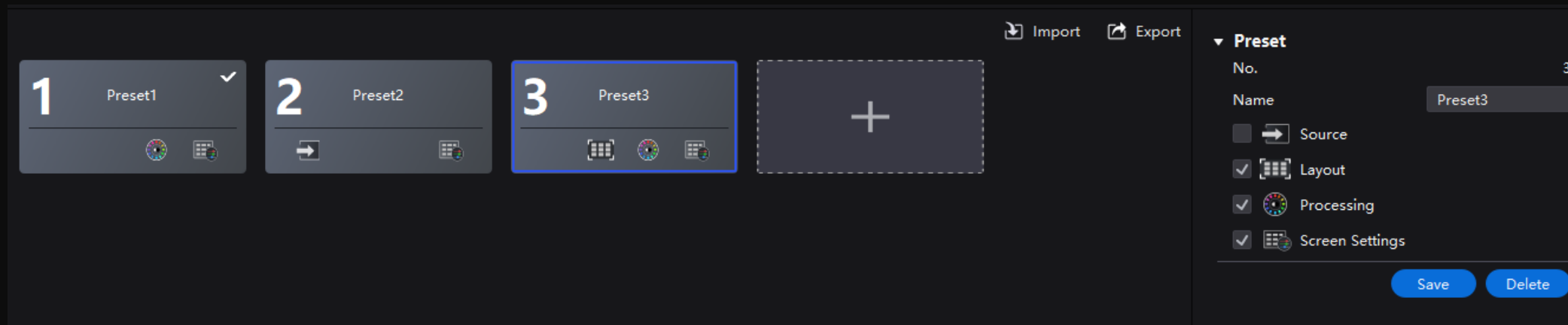
①ファンクションタブから[Monitor]を選択します。下部にあるログを確認します。

プリセット



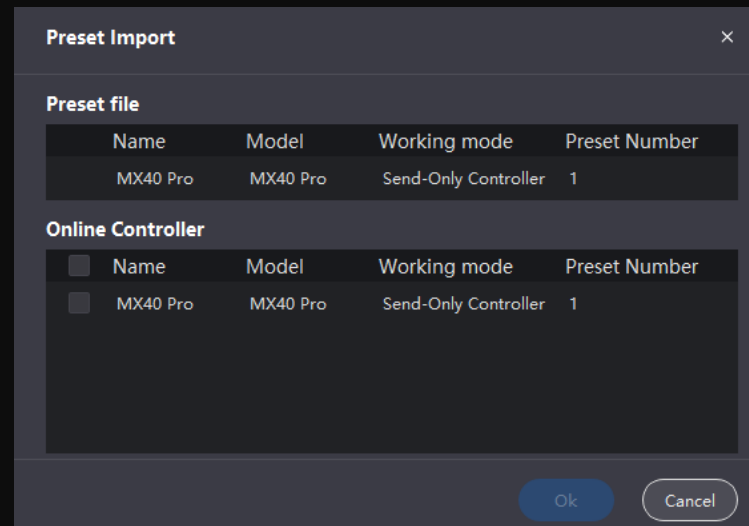
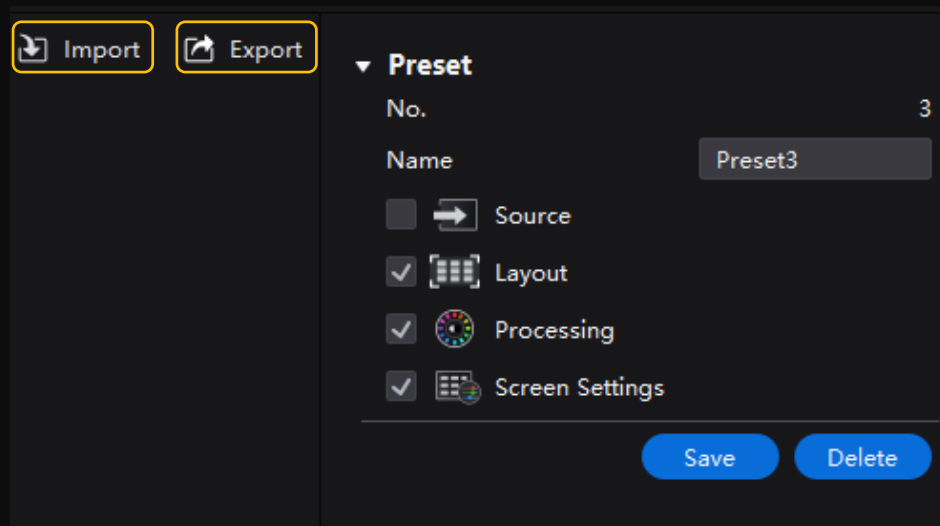
- ① ファンクションタブから[Preset]を選択します。
- ②  を選択するとプリセット画面が表示されます。
- ③ プリセットの名前を設定し、保存するデータを選択し、[Save]します。

プリセット



- ④プリセットをダブルクリックすると呼び出すことができます。
- ⑤プリセットを選択しプロパティエリアで編集できます。
- ⑥プリセットを選択し[Delete]を選択すると削除できます。

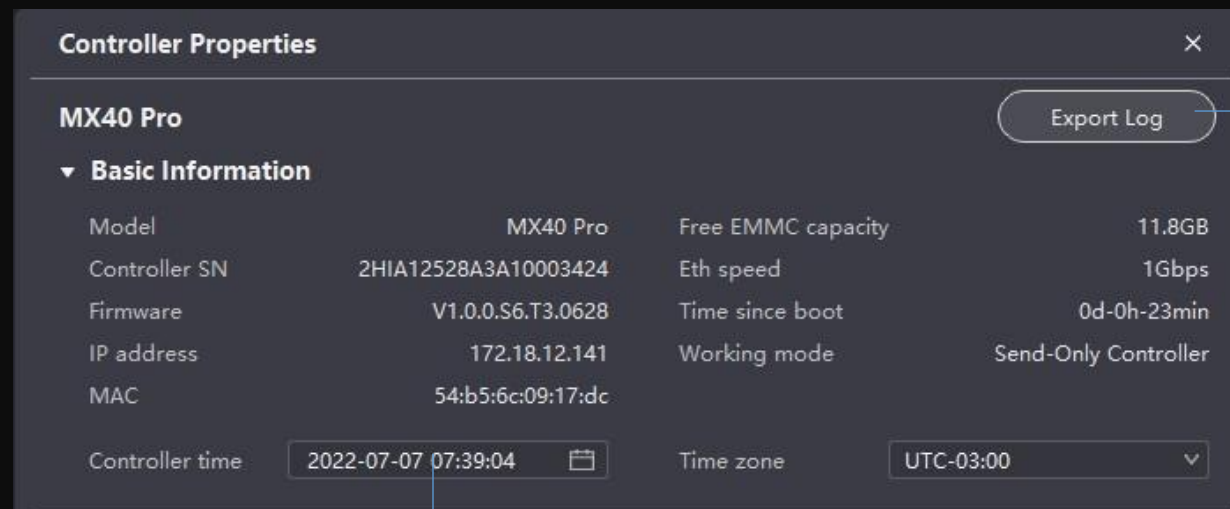
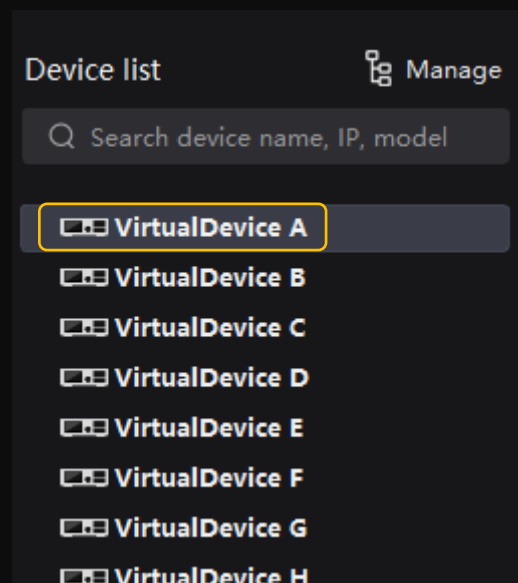
プリセット



⑦[Export]を選択しプリセットを保存します。

⑤[Import]を選択しプリセットを開きます。

メンテナンス コントローラ



ログデータを表示するには専用のソフトウェアが必要です。

コントローラ時間変更

- ①メニュー バーから、[Tools] > [Maintain] を選択します。
- ② [Controller] を選択します。
- ③左側のデバイス リストからコントローラを選択、右クリックするとプロパティが表示されます。

メンテナンス コントローラ

選択したコントローラの
LCD画面が緑色になります。

コントローラのファーム
ウェアをアップグレードし
ます。

フルスクリーンキャリブ
レーションデータをロード

Controller Finder Upgrade Restart Reset Upload full screen coefficient						
<input checked="" type="checkbox"/> Status	Controller Name	IP	Version	Working Mode	Action	
<input checked="" type="checkbox"/> Online	VirtualDevice A	127.0.0.1	V1.0.0.0.test	Send-Only Controller	Contr...inder Up...de More	Restart Reset

コントローラ
リスタート

コントローラ
リセット

メンテナンス キャビネット

ファームウェアとrcfgx
ファイルを他のキャビネット
にコピーします。

キャビネット
リスタート

ファームウェア
とrcfgxファイル
をロードします。

フラッシュ機能

キャリブレーション
データをロード/削除

Cabinet Painter

Cabinet Finder

Update

Restart

Upload File

LDM coefficient

Cabinet coefficient

<div><div></div></div>	Status <div></div>	Manufacturer <div></div>	Type <div></div>	Rv Card <div></div>	Firmware <div></div>	Controller <div></div>
<div><div><div></div></div></div>	<div><div></div>Online</div>	Virtual Cabinets	VC-1	CA50E	V4.1.2.84	VirtualDevice A
<div><div><div></div></div></div>	<div><div></div>Online</div>	Virtual Cabinets	VC-1	CA50E	V4.1.2.84	VirtualDevice A
<div><div><div></div></div></div>	<div><div></div>Online</div>	Virtual Cabinets	VC-1	CA50E	V4.1.2.84	VirtualDevice A
<div><div><div></div></div></div>	<div><div></div>Online</div>	Virtual Cabinets	VC-1	CA50E	V4.1.2.84	VirtualDevice A
<div><div><div></div></div></div>	<div><div></div>Online</div>	Virtual Cabinets	VC-1	CA50E	V4.1.2.84	VirtualDevice A

Save to LDM
モジュールのキャリブレーションデータを
レーシングカードに保存します。

Read to RV card
レーシングカードの
キャリブレーションデータを読み取ります。

キャビネット情報を
更新します。

Refresh			Upload full screen coefficient		Save Rv-card config
Controller IP	Location	Action			
127.0.0.1	P1-1	Cabinet Finder	Update	More	
127.0.0.1	P1-2	Cabinet Finder	Update		
127.0.0.1	P1-3	Cabinet Finder	Update		
127.0.0.1	P1-4	Cabinet Finder	Update		
127.0.0.1	P1-5	Cabinet Finder	Update		

レーシングカードに
保存します。

フルスクリーンキャリブ
レーションデータをロード

Restart
Upgrade firmware
Upload Config file
Upload coefficient

プロジェクトファイル

エクスポート

- ①メニューバーの[Project]>[Export]>デバイスを選択します
- ②ローカルディレクトリに保存します。

インポート

- ①メニューバーの[Project]>[Import]>ローカルディレクトリからファイルを選択します。